

# 町名のひみつ

## 通町



通町がつくられたときは、武家屋敷があったかのち武家に召使われる中間などが住むようになり、その人たちの通称から「御小人町」と呼ばれていました。慶安2年に野中兼山により町割がされ、まっすぐな一筋になったため通町となりました。

## 本丁筋



江戸時代は、「上町本町」と呼ばれていた。しかし明治時代にはいって高知街本町との別をさけるため本丁筋と改められた。ここには、才谷屋(坂本龍馬の家)がある。

## 水通町



江戸時代のはじめから道の中央に水路が通されていたことに由来する町名です。職人や商人の町でア江の左行秀もこの町で刀をきたえました。はく末の志士、近藤長次郎の屋敷跡があります。

## 北奉公人町



北奉公人町は、おとの様のけらしいのそのけらしい、奉公人が北に住んでいることから野中兼山により町割されました。

## 南奉公人町



北奉公人町と同様、南奉公人町も野中兼山により町割されました。昔ここには、奉公人が、たくさんいました。

## 築屋敷



この地は堀下町を守る鑓川大堤の外野中屋敷の竹やぶであったことから、享和元年(1804年)に町民が藩のきよかを得て自力で石垣をきつき開発し、この地を築屋敷町としました。坂本龍馬が、少年時代にかよった、日根野湯場がありました。この町名は、昭和47年の町

### 秘密の種あかし

町名からずんでいる人の暮らしがわかります。町名は人の名前をついた町名や水通町のように道の中央に水路が通されていたので水通町とついたところなどあります。つき屋敷の近くにある鑓川では昔の女の人は洗濯していました。子供達はよくあそんでいました。